

施策・主な取組シート

基本方向	(１) 安心・安全でいきいきとした暮らしづくり	基本政策	３) 防災・消防体制の充実
(１) 施策			
名称	〇 ７ 消防・救急救助体制の充実		
目標	火災や事故のほか、近年増加している大規模災害などから、市民の安心安全な暮らしを守るため、消防力の強化や救急救助体制の充実をめざします。		
現状と課題	近年の消防を取り巻く環境は大きく変化しており、首都直下地震などの災害の発生が懸念されている中、大規模かつ複雑多様化する災害に対応した消防力の整備が求められています。 さらに、火災の鎮圧や救急・救助等の活動においては、部隊の現場到着時間がその成否に影響を与えることから、消防力を効果的に配置することが求められています。		
課題解決の方向性	土地区画整理事業の進展等に伴う、住宅地や業務地の広がりなど地域の状況変化を踏まえ、各種災害活動に迅速、的確に対処するため、消防組織（分署・出張所）の適正配置に取り組みます。 また、消防力の維持・向上を図るため、老朽化した消防施設・消防車両等の更新整備や、平時における火災予防の強化や地域の消火体制の強化に取り組むとともに、救命率向上を図るため、市民を対象とした講習会などを実施します。		
(２) 主な取組			
No.1	名称	消防力の整備充実	
	担当課	消防総務課、警防課	
	概要	・ 消防組織（分署・出張所）の適正配置に取り組むとともに、老朽化した消防車両の更新整備を行い、複雑多様化する各種災害に対し万全な体制を図ります。 ・ 消火栓や防火水槽等の消防水利（水源）の計画的な改修に努めます。	
No.2	名称	救急救助体制の強化	
	担当課	警防課	
	概要	・ 救命率向上のため、市民を対象とした救命講習の普及・啓発を積極的に行い、受講者増加に取り組めます。 ・ 救急車の適正利用を啓発し救急出動件数を減らすことで、救急隊の１１９番覚知から現場到着までの平均所要時間短縮を図ります。 ・ 火災等の各種災害現場における隊員自らの安全確保に必要な消防資機材の更新整備を行います。	
No.3	名称	火災予防体制の充実強化	
	担当課	予防課	
	概要	・ 防火対象物及び危険物施設への立入検査を実施し、違反の早期是正、防火・防災及び保安体制の強化を図ります。 ・ 小学生や園児を対象とした消防署の見学、職場体験や防火教室を活用し、防火・防災に対する理解や興味を深め、将来の防火・防災活動を担う人材の育成に努めます。 ・ 住宅火災の被害を軽減するため、防災訓練などで住宅用火災警報器の重要性や必要性の普及に努め、住宅用火災警報器の設置を促進します。	

No.4	名称	消防団の充実強化		
	担当課	警防課		
	概要	・複雑多様化する各種災害に対し、常備消防のみでの活動には限界があり、消防団の協力は必要不可欠であることから、様々なイベント等を通じ、消防団の重要性について市民の理解を促進し、減少傾向にある団員の確保に努めます。 ・老朽化した消防団装備及び車両等の更新整備に努めます。		
施策目標の実現に関する指標	指標	現状値 (H30)	目標値 (H34)	設定の考え方
	救急車現場到着所要時間の短縮	9.3分 (平成29年中)	8.5分	平成28年の全国現場到着所要時間を目標値とします。
	消防団員の増員	545人 (平成30年4月1日現在)	600人	消防団員条例定数600人を目標値とします。